

5. 世界と一体化した国際活動の戦略的展開

5. 世界と一体化した国際活動の戦略的展開

国際的な人材・研究ネットワークの強化、地球規模課題の解決への貢献、戦略的な国際共同研究や交流の推進等に取り組み、科学技術外交を戦略的に推進する。

(1) 国際的な人材・研究ネットワークの強化等科学技術外交の基盤の整備

①大学等研究機関への支援

平成26年度予定額: 2,030百万円(平成25年度予算額: 1,522百万円)

○頭脳循環を加速する戦略的国際研究ネットワーク推進事業

我が国の高いポテンシャルを有する研究グループが特定の研究領域で研究ネットワークを戦略的に形成するため、海外のトップクラスの研究機関と若手研究者の派遣・受入れを行う大学等研究機関を重点的に支援する。

②研究者個人への支援

○海外特別研究員事業

平成26年度予定額: 2,078百万円(平成25年度予算額: 2,068百万円)

優れた若手研究者に対し所定の資金を支給し、海外における大学等研究機関において長期間(2年間) 研究に専念できるよう支援する。

○外国人特別研究員事業

平成26年度予定額: 3,572百万円(平成25年度予算額: 3,563百万円)

分野や国籍を問わず、外国人若手研究者を大学・研究機関等に招へいし、我が国の研究者と外国人若手研究者との研究協力関係を通じ、国際化の進展を図っていくことで我が国における学術研究を推進する。

(2) 国際的な共同研究・交流の推進

○地球規模課題対応国際科学技術協カプログラム(SATREPS)

我が国の優れた科学技術とODAとの連携により、アジア等の開発途上国と、環境・エネルギー、防災、生物資源等の地球規模の課題の解決につながる国際共同研究を推進する。

平成26年度予定額: 2,187百万円
(平成25年度予算額: 2,393百万円)

○戦略的国際共同研究プログラム(SICORP)

平成26年度予定額: 1,132百万円(平成25年度予算額: 1,044百万円)

戦略的な国際協力によるイノベーション創出を目指し、政府間合意に基づくイコールパートナーシップ(対等な協力関係)の下、相手国・地域のポテンシャル・分野と協力フェーズに応じた多様な国際共同研究を推進する。

○日本・アジア青少年サイエンス交流事業

平成26年度予定額: 810百万円(新規)

海外からの優秀な科学技術イノベーション人材の獲得に資するため、アジア諸国の青少年とのサイエンス交流プログラムを実施する。

頭脳循環を加速する戦略的国際研究ネットワーク推進事業

平成26年度予定額 : 2,030百万円
(平成25年度予算額 : 1,522百万円)

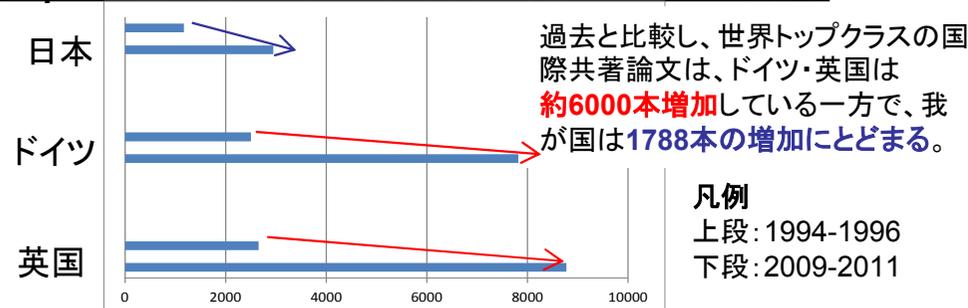
【事業概要】 高いポテンシャルを有する我が国の研究グループが特定の研究領域で国際研究ネットワークを戦略的に形成するため、事業を抜本的に見直し、目的の明確化・対象とする研究グループの絞り込みを行った上で、海外のトップクラスの研究機関と研究者の派遣・受入れを行う大学等研究機関を重点的に支援する。

【現状・課題】

世界の研究ネットワークの中で、日本のポジションが相対的に低下

- ◆優位性のある独自の研究領域を有する我が国の大学等研究機関を世界の研究ネットワークにおける「頭脳循環」の中に位置付け
- ◆我が国の研究機関が世界レベルの研究に主体的に関与し、有望な研究領域において、国際競争力が向上

【top10%補正論文における国際共著論文の時系列変化】



【事業内容】 大学等研究機関の国際戦略に基づき、研究者を海外のトップクラスの研究機関へ長期間派遣するとともに、相手の研究機関からも研究者を長期間受入れることにより、海外のトップクラスの研究機関と特定の研究領域で強固なネットワークを構築する大学等研究機関の取り組みを支援する。

日本の大学・研究機関

特定の研究領域における高い研究ポテンシャル

特定の研究領域の研究グループ

海外の大学・研究機関

特定の研究領域における海外のトップクラスの研究ポテンシャル

特定の研究領域の研究グループ

派遣・受入れの強固な双方向ネットワークの構築

【期待される効果】 我が国の研究グループと海外のトップクラスの研究グループとの間で、国際的な人材・研究ネットワークが強化されることで、我が国の研究グループが世界最先端の研究に主体的に関与し、我が国の研究の国際競争力が向上。

海外特別研究員事業／外国人特別研究員事業

平成26年度予定額	: 5,650百万円
(平成25年度予算額)	: 5,630百万円)
※運営費交付金中の推計額	

グローバルな頭脳循環の進展を踏まえ、我が国において優秀な人材を育成・確保するため、若手研究者に対する海外研鑽機会の提供や諸外国の優秀な研究者の招へいを実施。

海外特別研究員事業

H26年度予定額: 2,078百万円

(H25年度予算額: 2,068百万円) ※運営費交付金中の推計額

採用人数(見込み)
平成25年度545人
→平成26年度507人

【概要】

我が国の大学等研究機関に所属する常勤の研究者や博士の学位を有する者等の中から優れた若手研究者を「海外特別研究員」として採用し、所定の資金(往復航空賃、滞在費・研究活動費)の支給により、海外の大学等研究機関において長期間(2年間)研究に専念できるよう支援する。



- 【2年間の研究活動で期待される効果】**
- ★研究者自身のキャリアパスに資する研究能力の向上
 - ★具体的な研究成果(論文等)
 - ★外国語による十分なコミュニケーション能力の向上
 - ★将来の共同研究につながる研究者ネットワークの構築

外国人特別研究員事業

H26年度予定額: 3,572百万円

(H25年度予算額: 3,563百万円) ※運営費交付金中の推計額

採用人数(見込み)
平成25年度1,124人
→平成26年度1,124人

【概要】

分野や国籍を問わず、外国人若手研究者を大学・研究機関等に招へいし、我が国の研究者と外国人若手研究者との研究協力関係を通じ、国際化の進展を図っていくことで我が国における学術研究を推進する。

<外国人特別研究員>

- ・一般(12か月以上24か月以内)
- ・欧米短期(1か月以上12か月以内)
- ・夏期(夏期2か月)
- ・戦略(3か月以上12か月以内)

【支援内容(「一般」の場合)】

- ・滞在費(434万円/年)
- ・渡日一時金(20万円)
- ・航空賃

国際科学技術共同研究推進事業

平成26年度予定額 : 3,319百万円
 (平成25年度予算額 : 3,437百万円)
 ※運営費交付金中の推計額

国際科学技術協力の戦略的展開に資するため、先進・新興国、開発途上国との共同研究等を推進し、地球規模課題の解決に貢献するとともに、国際サイエンス交流を促進し、科学技術外交の強化に貢献する。

戦略的国際共同研究プログラム (SICORP)

平成26年度予定額: 1,132百万円
 (平成25年度予算額: 1,044百万円)

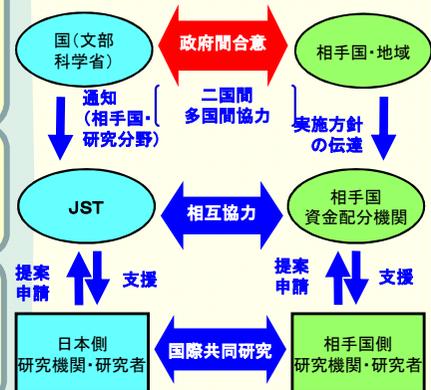
※運営費交付金中の推計額

戦略的な国際協力によるイノベーション創出を目指し、政府間合意に基づくイコールパートナーシップの下、相手国・地域のポテンシャル・分野と協力フェーズに応じた多様な国際共同研究を推進する。

【支援規模・期間】

- コンソーシアム共同研究タイプ**
 <各国が複合的なチームを構成して実施する大型の共同研究>
 30百万～1億円／年・課題 (3～5年間)
- コアチーム共同研究タイプ**
 <各国が1～2チームで実施する中型の共同研究>
 10百万～30百万円／年・課題 (1～3年間)
- 国際協力加速タイプ**
 <相応の基盤を有する研究の加速>
 5百万～10百万円／年・課題 (1～3年間)

【実施体制】



地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム (SATREPS)

平成26年度予定額: 2,187百万円
 (平成25年度予算額: 2,393百万円)

※運営費交付金中の推計額

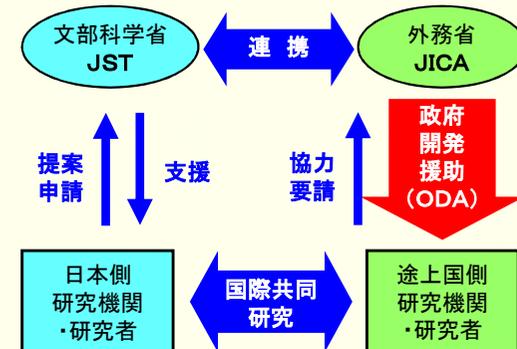
我が国の優れた科学技術と政府開発援助 (ODA) との連携により、アジア等の開発途上国と、環境・エネルギー分野、防災分野、生物資源分野等との地球規模の課題の解決につながる国際共同研究を推進する。

【支援規模・期間】

35百万／年・課題 (3～5年間)

【実施体制】

文部科学省及び科学技術振興機構(JST)と、外務省及び国際協力機構(JICA)が連携し、それぞれ日本側研究機関・研究者及び相手国側研究機関・研究者を支援することにより、我が国と開発途上国の共同研究を推進。



事業目的

科学技術分野でのアジアとの青少年交流プログラムを実施することで、日本の最先端科学技術への関心を高め、もって日本の大学・研究機関や企業が必要とする海外からの優秀な人材の獲得に貢献する。

事業概要

事業のポイント

- ✓ 科学技術振興機構(JST)にて、特に優秀な人材を招へいし、事業を実施。
- ✓ 提供する科学技術交流コンテンツをメニュー化し、プラットフォームを構築。
- ✓ 留学生交流等のプログラムとも有機的に連携し、施策の相乗効果を図る(合計して、約5,000人/年規模の交流事業を実施)。

(1) 特に優秀な人材の招へい

科学技術に関し、特に優秀な人材については、JSTのネットワークを駆使して、日本に招へいし、サイエンス交流事業を実施。企業や大学、研究機関のハイレベルの科学技術人材獲得に寄与するよう、連携して実施。

招へいの概要

- 人数：約2,000人/年規模
- 対象国：東アジア・ASEAN15か国・地域等
- 対象：高校生、大学生、大学院生、ポスドク
- 期間：約1～4週間

(2) 科学技術交流コンテンツのプラットフォーム構築

JSTの最先端研究、科学技術コミュニケーション、次世代人材育成等の実績・ネットワークを最大限に活用して、科学技術交流コンテンツをメニュー化し、招へい者に提供。他の国際交流プログラムにも提供し、有機的に連携(約3,000人/年規模)。

日本・アジア青少年サイエンス交流事業

